

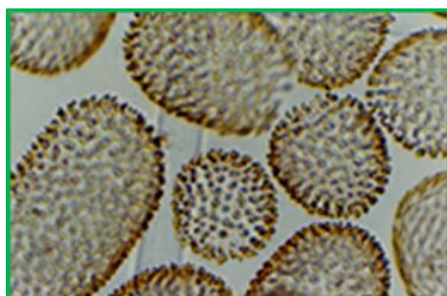
瀬田川プランクトン調査結果速報

～第40報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係
令和6年12月23日

1.最も数が多かった種類(優占種)

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana

(ウログレナ)

黄色鞭毛藻綱

楕円形または倒卵形の細胞が寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成します。また、各細胞は不等長の2本の鞭毛を有し、それらを動かして回転しながら遊泳します。生ぐさ臭のする物質を産生し、水道水の異臭味の原因となる藻類です。

動物プランクトン第1優占種



Codonella cratera

(スナカラムシ)

繊毛虫類

壺のような形状をした、くびれのある黒色の殻を持ち、殻前方から微生物などの有機物を摂食します。殻は砂粒などから構成されています。また、殻の中には無色透明の繊毛虫が入っていますが、環境が悪くなると殻から抜け出して遊泳することが知られています。

コメント

植物プランクトンは細胞数、体積ともに黄色鞭毛藻に属するウログレナ(*Uroglena americana*)が優占種となりました。網別の体積では、降順で黄色鞭毛藻が約60%、褐色鞭毛藻が約19%、次いで珪藻が約15%となりました。動物プランクトンは、繊毛虫類のスナカラムシ(*Codonella cratera*)が優占種となりました。ピコ植物プランクトンについては、今週は3,600細胞/mL計数されました(輝橙色:92%、深赤色:8%)。

先週の調査で一旦減少したものの、異臭味原因プランクトンのウログレナが再度増加し優占種となりました。昨年度冬のピーク時よりは細胞数が少ない状態ですが、今後も増加に注意する必要があります。また、先週優占種であったオビケイソウ(*Fragilaria crotonensis*)ですが、今週では第2優占種となり数の多い状態が続いています。

2.計数された主なプランクトンとその数(個体数)

(1)動物プランクトン

第 1 優 占 種		(個体/L)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	620

第 2 優 占 種		(個体/L)
太陽虫類	<i>Actinophrys</i> sp.	240

* 個体数は、プランクトンネットNXXX25(目合い41μm)で1000倍濃縮したものを直接検鏡して計測しました。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

～第40報～

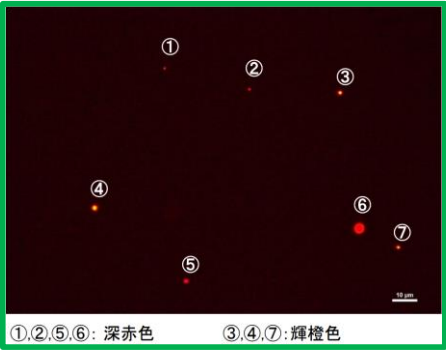
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係
令和6年12月23日

(2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)		
		数	体積
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	100		
(黄鞭) <i>Mallomonas fastigata</i>	20		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i> ★	2000	◎	◎
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	62		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	40		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i>	8		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	36		
(珪) <i>Aulacoseira ambigua</i>	72		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	40		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	120		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	210	○	
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	8		
(珪) <i>Asterionella gracillima</i>	4		
(珪) <i>Synedra ulna</i>	1		
(珪) <i>Synedra acus</i>	1		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	160		○
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	180		
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	160		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	2222	68.5	60.1
(珪) 珪藻綱	520	16.0	15.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	340	10.5	18.9
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	160	4.9	6.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	3242	総体積 (μm^3)	1.60E+06
種 類 数	19		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/mL)
ただし * 印の種は群体数(群体/mL)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) ★: 異臭味原因プランクトン
- 注4) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値です。

ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影
(倍率: 10×20倍)



(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	細胞数/mL
(藍) <i>Synechococcus</i> sp.	3,600

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2～2 μm (1 μm は1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起(緑色光照射)で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。